

子どもを取り巻く事故！

子どもは、親や周囲の大人にとって思いがけない行動や反応をして、さまざまな「不慮の事故」に巻き込まれることがあります。「ちょっと目を離したすきに。。。」「出かけようとばたばたしていたら。。。」「危ないといつも気をつけていたんだけど。。。」「アツと思ったときにはもう遅く。。。」などなど事故に遭った保護者からはこんな言葉を耳にします。事故の事例を紹介します。今一度安全確認しましょう。

<事例1>

運転中に子どもの指に気づかず、後部座席の窓を操作し、車のパワーウィンドに挟まれて指を切断した。

- * 「窓閉めるよ」と一声かけて操作しよう。
- * チャイルドシートを使っていれば幼児の手は窓の上端には届かないので、必ずチャイルドシートを使用する。
- * 子どもが自分で操作しないようにロック機能を使おう。



<事例2>

生後5ヶ月の赤ちゃんを公共施設のトイレに設置しているおむつの交換台に乗せて付属の安全ベルトを閉め、少し目を離したところ、おむつの交換台から転落し頭部打撲を負った。

- * ベルトは横ずれを防止するためのもので、子どもの転落を防止するためのものではないので、注意しましょう。
- * 子どもをおむつ交換台に乗せたときは『目を離さない、その場を離れない』を守りましょう。

